

環境関連学会・展示会等における環境技術実証事業のPRの実施状況

1. 基本方針

- (1) 昨年度と同様に、費用効果的な広報活動を行うため、学会：5件、展示会：2件を対象とする（展示会1件を除き実施済）。環境省が実施するものを含む
- (2) 展示会に関しては、実証機関や実証申請者と連携して出展し、実証済技術の実物も展示できるような体制ができないか、検討する。
- (3) 学会に関しては、発表時間や展示スペース等が限られていることから、学会予稿集原稿やパネル展示の「内容」については、事前に関連する実証機関へご相談させていただき、「当日説明」については、基本的に実証運営機関が対応する。ただし、実証機関や実証申請者と連携することでよりPR効果が見込まれる場合は、連携して対応する。
- (4) 出展者名は、可能な限り環境省と実証運営機関の連名とする。
- (5) 出展先の選定のポイントは以下の4点を中心に検討し、PR効果が高いと見込まれるイベントを、上記(1)の件数で選定する。

< 出展先選定のポイント >

関連する技術分野数

来場者数等（ETV事業に係る発表、ポスター等に関心を持つ見込みのある人数を把握できる場合にはそちらを重視）

実証機関や実証申請者のコミットメントの程度

その他、期待される効果等（昨年度出展先で特に効果が高かったもの、昨年度の検討において有用性が示唆されたもの等）

2. 具体的な出展先

12の学会及び13の展示会を出発点として、各実証機関への意見照会を行いつつ、上記<出展先選定のポイント>を踏まえ、具体的な出展先を決定した。

上記の検討を踏まえ、学会については表1に示す5イベント、展示会については表2に示す2イベントを選定した。環境省が実施するものを含む

表1 学会における具体的なPR方法

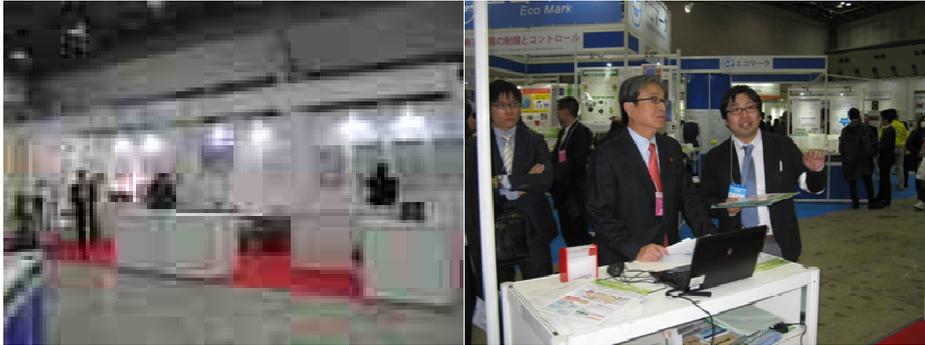
名称	PR概要
第22回環境化学討論会 (主催:日本環境化学会)	(開催期間) 2013年7月31日(水)～8月2日(金) (場所) 東京農工大学府中キャンパス (PR形式) ポスターセッション (選定理由) 関連する技術分野数が4分野あるとともに、比較的来場者数が多く(700名超)、ETVに関心を持つ方の来場が一定程度見込めるため。 (活動概要) 実証運営機関により、ポスターセッションで、環境技術実証事業のリーフレットを配布し、VOC等簡易測定、自然地域トイレ、有機性排水、閉鎖性海域、湖沼の各技術分野を中心に、事業の概要を説明した。
環境科学会 2013年会(主催:環境科学会)	(開催期間) 2013年9月3日(火)～9月4日(水) (場所) 静岡県コンベンションアーツセンター「GRANSHIP(グランシップ)」 (選定理由) 関連する技術分野数が4分野あるとともに、ETVに関心を持つ方の来場が一定程度見込めるため。 (活動概要) 環境技術実証事業ブースを設け、ポスターの掲示、事業リーフレットの配布を行った。
第21回地球環境シンポジウム (主催:土木学会地球環境委員会)	(開催期間) 2013年9月17日(火)～18日(水) (場所) 東北大学青葉山キャンパス (PR形式) パネル展示 (選定理由) 関連する技術分野数が3分野あるとともに、昨年度、平成24年度地球環境技術賞を受賞するなど、特に効果が高かったため。 (活動概要) 実証運営機関により、事業の概要に関するショートプレゼンテーション、パネルの展示、事業リーフレットの配布等を通じて、閉鎖性海域、湖沼、地中熱ヒートの各技術分野を中心に、広報活動を行った。
平成25年度 空気調和・衛生工学会大会	(開催期間) 2013年9月25日(水)～27日(金)

名称	PR概要
(主催:空気調和・衛生工学会)	(場所) 信州大学工学部 (選定理由) 関連する技術分野数が複数あるとともに、地中熱関係の特集等を行うなど、ETVに関心を持つ方の来場が一定程度見込めるため。 (活動概要) 実証運営機関により、有機性排水、地中熱ヒートの各技術分野を中心に、事業の概要に関する口頭発表を行った。
第16回日本水環境学会シンポジウム (主催:日本水環境学会)	(開催期間) 2013年11月9日(土)~10日(日) (場所) 琉球大学農学部キャンパス等 (PR形式) 本部企画セッション (選定理由) 関連する技術分野数が4分野あるとともに、一昨年度、昨年度の出展に関して、関連技術分野の技術実証検討会座長より「事業の普及に向けて効果が高かった」との指摘をいただくなど、特に効果が高かったため。 (活動概要) 環境技術実証事業のセッション(実証申請者2社、実証機関延べ2団体)から発表)を設け、冒頭環境省より口頭発表を行った。

環境省が実施するもの

表2 展示会における具体的なPR方法

名称	活動概要等
エコプロダクツ2013 (主催:(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社)	(開催期間) 2013年12月12日(木)~14日(土) (場所) 東京ビックサイト (PR形式) 実証機関・実証申請者との共同出展(3小間分、詳細未定) (選定理由) 全技術分野に関連し、来場者数も多い(178,501名)とともに、実証機関・実証申請者のブース位置等の調整も比較的容易で、一定のコミットメントを図ることができるため。

名称	活動概要等
	<p>(活動概要)</p> <p>環境技術実証事業全分野について、環境省によるETV事業のプレゼン及び実証運営機関による実証機関・実証申請者との共同出展(実証機関1団体、実証申請者4社)を行った。実証済技術のデモ機、パネル、事業リーフレット等を活用した事業概要の説明を行い、共同出展の効果検証及び事業者の実証申請への誘導を目的とした来場者アンケートを実施した。</p>  <p>図 「エコプロダクツ 2013」における環境技術実証事業ブース</p>
<p>川崎国際環境技術展 2014 (主催:川崎国際環境技術展実行委員会)</p>	<p>(開催期間) 2014年2月14日(金)～15日(土)</p> <p>(場所) 川崎市とどろきアリーナ</p> <p>(PR形式) 実証機関・実証申請者との共同出展(3小間分)</p> <p>(選定理由) 全技術分野に関連し、昨年度の検討において有用性が示唆されているとともに、実証機関・実証申請者との共同出展を行うことにより、一定のコミットメントを図ることができるため。</p> <p>(活動概要) 環境技術実証事業全分野について、環境省によるETV事業のプレゼン及び実証機関・実証申請者との共同出展(実証申請者5社予定)を行う予定である。また、エコプロダクツ 2013と同様に、実証済技術のデモ機等を活用した事業概要の説明を行い、来場者アンケートを実施する予定である(出展概要を参考資料3-2に示す)。</p>